

OTF StudioのSynthesis(最適化法)の種類

最適化法	特徴
Refinement	局所解としての最適値を探す。既存の膜構成から若干の修正を要する場合に適する
Needle Optimization	初期設計からNeedle層を挿入しながら最適値を探す。Needleが入らなくなると計算停止
Gradual Evolution	初期設計を必要とせず自動的に膜構成を構築する。複雑な問題を含む多くの設計に有効。最初に計算停止条件を定義し、その条件に達すると計算を停止
Multi-Start Optimization	使用材料の平均物理膜厚と最大層数を設定。指定された範囲でランダムに最適値を探す。計算停止は時間設定または手動で行う。

機能	用途
Cleaner	設計結果から薄い層を除去する場合に使用
Variator	各層の膜厚、基板や材料の屈折率を変更した時の分光特性の変化をリアルタイムで確認する時に使用